

今年度の気象は平均気温が3～4月、6～9月、11月が平年より高く、年平均では0.3℃平年より高くなりました。降水量は全体的に平年より少なく、日照時間は全体的に平年より多くなりました。

ミカンの着色は平年より早く、糖度は平年並みで、酸度は高い傾向でした。

令和4年のまとめ

1 令和4年の気象

令和4年1月～12月の月別気象を表1に示した。月平均気温は、1、2、10月は平年より低く、5、8、12月は平年並で、その他の月は平年より高かった。1年間の平均気温は16.1℃で平年より0.3℃高く、前年並であった。降水量は2、4、5、7月で平年より多く、その他の月では平年並または平年より少なかった。1年間の合計は1,694mmで平年の92%、前年の77%で、ゲリラ豪雨はあったものの全体的に雨が少なかった。日照時間は4、5、8月で平年より少なく、その他の月は平年より多かった。1年間の合計は2,085時間で平年の105%、前年の96%であった。

表1 令和4年の気象（暖地園芸研究所）

| 年 月 | 平均気温 (°C) | | | 降水量 (mm) | | | 日照時間 (時間) | | |
|--------|-----------|------|------|----------|-------|-------|-----------|-------|-------|
| | 本年 | 平年 | 前年 | 本年 | 平年 | 前年 | 本年 | 平年 | 前年 |
| 令和4年 1 | 5.4 | 6.1 | 6.6 | 33 | 86 | 77 | 191 | 175 | 175 |
| 2 | 5.6 | 6.6 | 9.2 | 107 | 82 | 67 | 170 | 154 | 207 |
| 3 | 11.2 | 9.6 | 12.7 | 87 | 161 | 199 | 180 | 167 | 166 |
| 4 | 14.9 | 14.0 | 14.4 | 260 | 156 | 175 | 157 | 177 | 227 |
| 5 | 18.1 | 18.0 | 18.7 | 240 | 153 | 193 | 183 | 188 | 171 |
| 6 | 21.5 | 20.9 | 21.4 | 192 | 212 | 84 | 166 | 135 | 163 |
| 7 | 25.6 | 24.6 | 25.0 | 198 | 179 | 365 | 189 | 179 | 207 |
| 8 | 26.3 | 26.0 | 26.4 | 94 | 103 | 213 | 206 | 218 | 198 |
| 9 | 24.1 | 22.9 | 22.2 | 139 | 222 | 232 | 158 | 153 | 125 |
| 10 | 17.4 | 18.2 | 18.3 | 128 | 258 | 309 | 145 | 138 | 159 |
| 11 | 15.1 | 13.4 | 14.2 | 130 | 144 | 152 | 163 | 146 | 182 |
| 12 | 8.4 | 8.7 | 9.0 | 89 | 91 | 138 | 179 | 165 | 202 |
| 平均/合計 | 16.1 | 15.8 | 16.5 | 1,694 | 1,846 | 2,202 | 2,085 | 1,993 | 2,180 |

注) 降水量については所内観測機が不調のため、館山アメダスの観測値を使用

2 令和4年の樹及び果実の生育

暖地園芸研究所における発芽期は、「日南1号」及び「興津早生」が4月2日、普通温州が4月5日であり、「日南1号」で平年並、「興津早生」と普通温州で6～8日早かった。前年と比較すると、「日南1号」は10日、「興津早生」は6日遅く、普通温州は2日早かった。

開花盛期は、「日南1号」が5月7日、「興津早生」が5月8日、普通温州は5月13日であり、平年より1～4日早く、前年より2～4日遅かった。

本年の着花量は、暖地園研では早生温州では平年並、普通温州ではばらつきがみられた。

調査3園地（表3－注2）の収穫調査時の横径は、「日南1号」は平年比で短く、他3品種は平年並～やや長かった。前年比で「日南1号」は短く、「興津早生」は

長く、「大津4号」、「青島温州」は同程度であった。縦径は「日南1号」は平年及び前年より短く、他の3品種は平年比及び前年比でやや長い～長い傾向であった。一果重は「日南1号」は平年及び前年より軽く、他3品種は平年より重く、「興津早生」「大津4号」は前年より重く、「青島温州」は前年より軽い傾向であった。

着色は「日南1号」は平年及び前年より早かった。他の3品種は平年より早く、「興津早生」は前年よりやや遅かった。糖度は「興津早生」が平年及び前年より低く、他の3品種はほぼ平年及び前並みであった。酸度は「青島温州」がほぼ平年及び前年並、他の3品種は平年及び前年より高い傾向であった。

果肉歩合は4品種ともにほぼ平年並であった。「興津早生」は前年より低く、他の3品種は前年並であった。

表2 令和4年の発芽期及び開花期（暖地園芸研究所）

| 品種 | 発芽期（月・日） | | | 開花期（月・日） | | | | | | | | |
|------|----------|------|------|----------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | 本年 | 平年 | 前年 | 始期 | | | 盛期 | | | 終期 | | |
| | | | | 本年 | 平年 | 前年 | 本年 | 平年 | 前年 | 本年 | 平年 | 前年 |
| 日南1号 | 4.2 | 4.1 | 3.23 | 5.4 | 5.3 | 4.27 | 5.7 | 5.8 | 5.3 | 5.10 | 5.14 | 5.8 |
| 興津早生 | 4.2 | 4.8 | 3.27 | 5.3 | 5.7 | 4.29 | 5.8 | 5.12 | 5.4 | 5.11 | 5.17 | 5.9 |
| 普通温州 | 4.5 | 4.13 | 4.7 | 5.9 | 5.11 | 5.7 | 5.13 | 5.17 | 5.11 | 5.16 | 5.22 | 5.20 |

注1) 平年：直近過去25年間の平均値（「日南1号」は平成27年～令和3年の平均値）

2) 普通温州：「大津4号」と「青島温州」の平均値

表3 令和4年の果実品質（暖地園芸研究所、収穫期）

| 品 種 | 横 径(cm) | | | 縦 径(cm) | | | 一果重(g) | | |
|------|---------|-----|-----|---------|-----|-----|--------|-----|-----|
| | 本年 | 平年 | 前年 | 本年 | 平年 | 前年 | 本年 | 平年 | 前年 |
| 日南1号 | 6.5 | 6.8 | 7.3 | 5.0 | 5.1 | 5.4 | 120 | 127 | 145 |
| 興津早生 | 6.8 | 6.4 | 5.1 | 5.3 | 4.9 | 4.0 | 135 | 114 | 93 |
| 大津4号 | 7.8 | 7.5 | 7.1 | 5.4 | 5.0 | 4.4 | 175 | 145 | 127 |
| 青島温州 | 7.9 | 7.4 | 7.3 | 5.2 | 5.0 | 4.6 | 175 | 139 | 142 |

| 品 種 | 着色程度 (0~10) | | | 糖 度 (%) | | | 酸 度 (%) | | | 甘味比 | | | 果肉歩合 (%) | | |
|------|----------------|-----|-----|---------|------|------|---------|------|------|------|------|------|----------|------|------|
| | 本年 | 平年 | 前年 | 本年 | 平年 | 前年 | 本年 | 平年 | 前年 | 本年 | 平年 | 前年 | 本年 | 平年 | 前年 |
| 日南1号 | 5.0 | 4.0 | 3.9 | 8.8 | 8.4 | 8.6 | 1.16 | 1.01 | 0.88 | 7.8 | 8.6 | 9.8 | 84.3 | 84.7 | 91.3 |
| 興津早生 | 7.4 | 7.0 | 7.9 | 9.0 | 9.4 | 9.9 | 1.03 | 1.01 | 0.72 | 9.3 | 9.9 | 14.3 | 82.0 | 81.9 | 81.2 |
| 大津4号 | 8.9 | 8.1 | 9.4 | 10.5 | 10.0 | 10.3 | 0.96 | 0.87 | 0.85 | 11.5 | 11.7 | 12.3 | 76.0 | 75.4 | 76.4 |
| 青島温州 | 8.7 | 7.6 | 8.2 | 9.6 | 9.4 | 9.3 | 0.84 | 0.89 | 0.87 | 11.9 | 10.7 | 10.9 | 75.0 | 74.7 | 74.5 |

注1) 平年値は平成13～令和3年の値（「日南1号」は平成27～令和3年の平均値）

2) 南房総市三芳地区、同千倉地区及び暖地園研の3園地の平均値
（「日南1号」は暖地園芸における調査のみ）

3) 甘味比＝糖度／酸度

4) 果肉歩合＝（果肉重／1果重）×100

5) 収穫日は「日南1号」：10月3日「興津早生」：11月1日
「大津4号」及び「青島温州」：11月30日

3 病害虫、生理障害の発生

令和4年の暖地園芸研究所における果樹カメムシ類の発生は、6月以降に温州ミカンへの飛来がみられ、吸汁加害を受けた。誘殺数は6月から8月上旬にかけて増加し、それ以降は減少した。10月以降はほとんど誘殺されなかった。来年は少発生が予測されているが、殺虫剤散布などの対策をあらかじめ準備しておく。

その他の病害虫は平年並の発生であった。

浮皮果の発生は見られなかった。

4 1月以降の栽培管理

(1) 防寒被覆

寒さに弱い幼木や風当たりの強い場所で重点的に行う。低地では樹冠上方を、風当たりの強い場所では樹の全体を被覆資材で覆う。コモ、稲わら、寒冷紗、ビニル等が保温の目的で用いられる。

(2) 土づくり・施肥

高品質のミカンを生産するため、土壌診断などで定期的に土壌の物理性及び化学性を把握し、2～3月に堆肥等有機物を、3月上旬に春肥を施用する。

(3) 縮伐・間伐・せん定

せん定の前に、密植園では縮伐や間伐を実施する。これにより、作業性の向上、高品質果実生産につながる樹形への整枝ができるようになる。

せん定はノコギリを用いた大きな枝のせん除から始め、その後、せん定鋏を用いた比較的細い枝の間引き、切り返しの順で行うと効率が良い。強せん定は徒長した枝が発生しやすく、隔年結果を助長させるため、あくまで弱せん定が基本である。樹によってはせん定を行わないか、大枝の除去のみで良い場合も多く、切り過ぎないように注意する。

(4) 病害虫の防除

せん定時には黒点病やそうか病、かいよう病の防除のため、枯れ枝や罹病枝葉を除去し、園外で処分し、園内の菌密度を下げる。そうか病は発芽した芽が3mm程度に伸びた発芽期（4月中旬）及び落花直後（5月下旬）に薬剤防除を行う。かいよう病の防除は発芽前と5月中旬に行う。銅水和剤の散布は、農薬のラベルをよく読み、他の農薬との散布時期の調整を行う。

カイガラムシ類、ダニ類の防除のため、せん定した後、発芽前までにマシン油乳剤の散布を行う。ただし、樹勢の弱い樹への散布は避ける。また、厳冬期は落葉する危険があるため散布を避ける。

防除に際しては、千葉県農作物病害虫雑草防除指針を参考に行う。

なお、表の数値は表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計は一致しない場合があります。

《 生育情報の問合せ先 》

千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話 0470-22-2961

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>